

福祉委員活動実績集計結果報告

○福祉委員活動調査の概要

1. 調査目的

福祉委員の活動について把握し、今後の活動に生かすために実施しました。

2. 調査概要

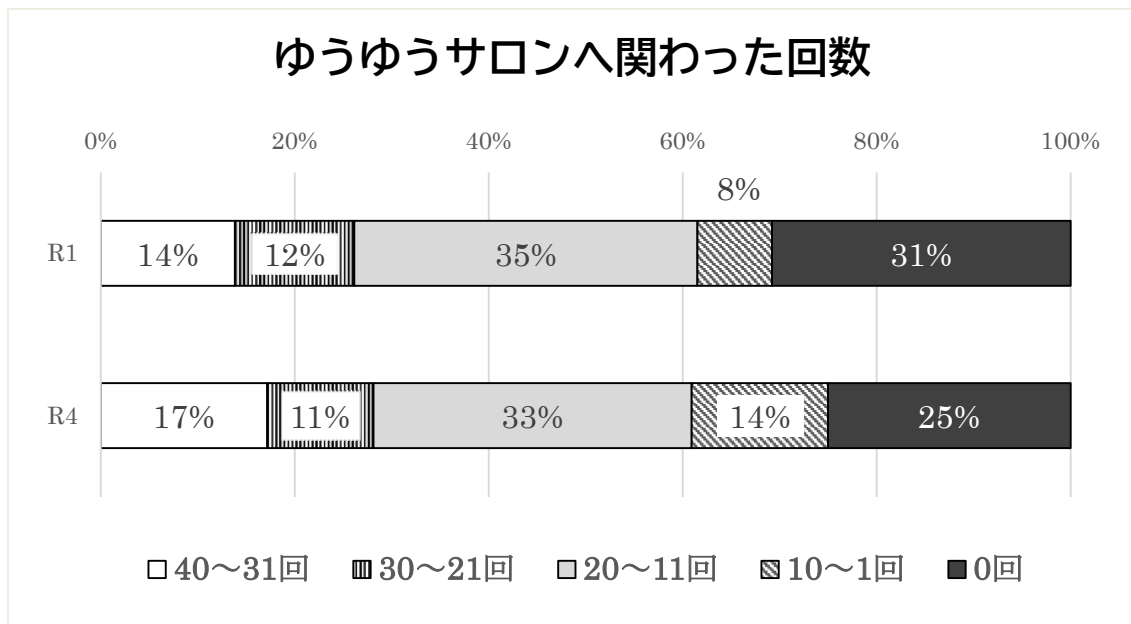
- ・調査対象者：令和5年度の福祉委員 66名
- ・調査期間：令和5年4月～5月
- ・調査方法：郵送配布、回収は郵送及び来館

3. 回収結果

- ・回収率：97.0%(7月1日現在)

4. 報告書の見方

- ・集計の対比に関しましては、コロナ禍前の令和元年と令和4年度となっております。
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第1位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。



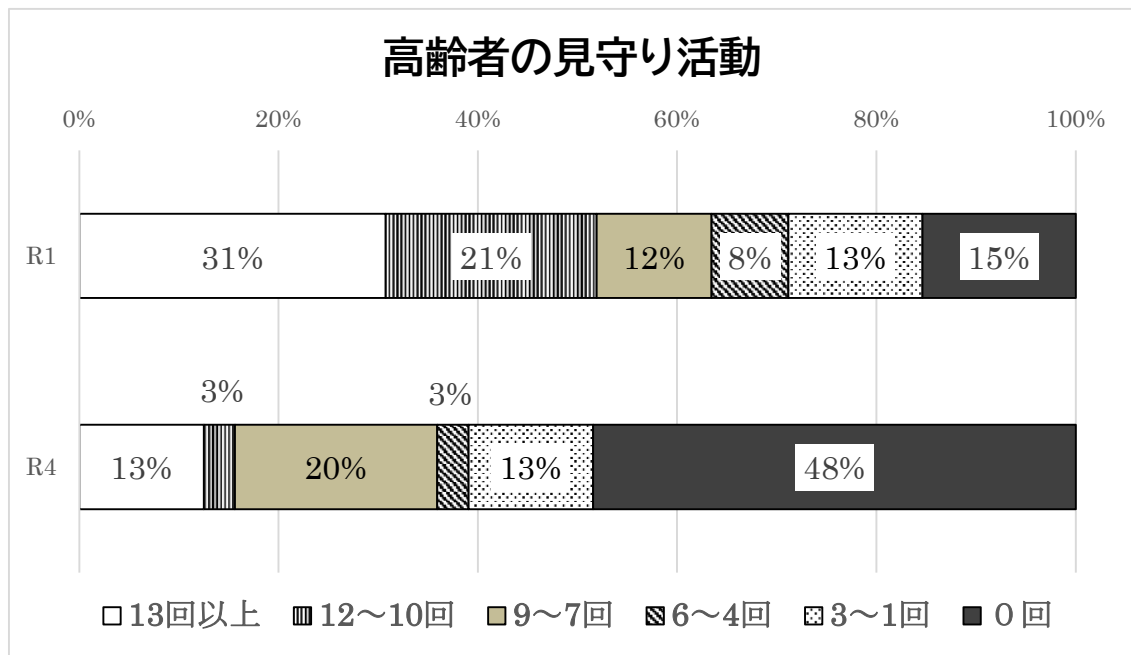
ゆうゆうサロンについて、関わったと回答された方は 75%で、コロナ禍前の令和元年度に比べ 6%増加し、多くの方々に関わっていただいていることがうかがえます。

「コロナ中でゲームはできなかったが、ボッチャ講習で久しぶりに盛り上がりました」「いつもは静かに体操するだけですが、クリスマス会でサンタさんが登場して喜ばれました」など、コロナ禍で工夫をしながら楽しめるサロンを行ってくださっていることが分かります。

また、「話し相手が欲しい方にこのサロンをご紹介します、喜んで参加してもらえました」「お休みをした人には毎回安否確認をしています」「みんなで作ったしめ縄を長期にお休みされていた方に届けて喜ばれました」との声もあり、参加者への声掛けや訪問のきっかけの場となっているようです。

一方で、「ボランティアの数が少なく、お手伝いが苦痛となってきた」とのご意見もありました。

先日の福祉研修会では、参加者や運営者を分けることなく、できることを皆でやるのが参加者の笑顔や生きがいになるとの話がありました。時には参加者の手を借りながら、無理のない範囲での取り組みをしていただければと思います。



高齢者の見守り活動については、令和元年度は「見守りを目的とした訪問の回数」、令和4年度は「高齢者の見守り活動」で集計しています。

高齢者の見守り活動に関して、半数の方が実施されていることがわかります。

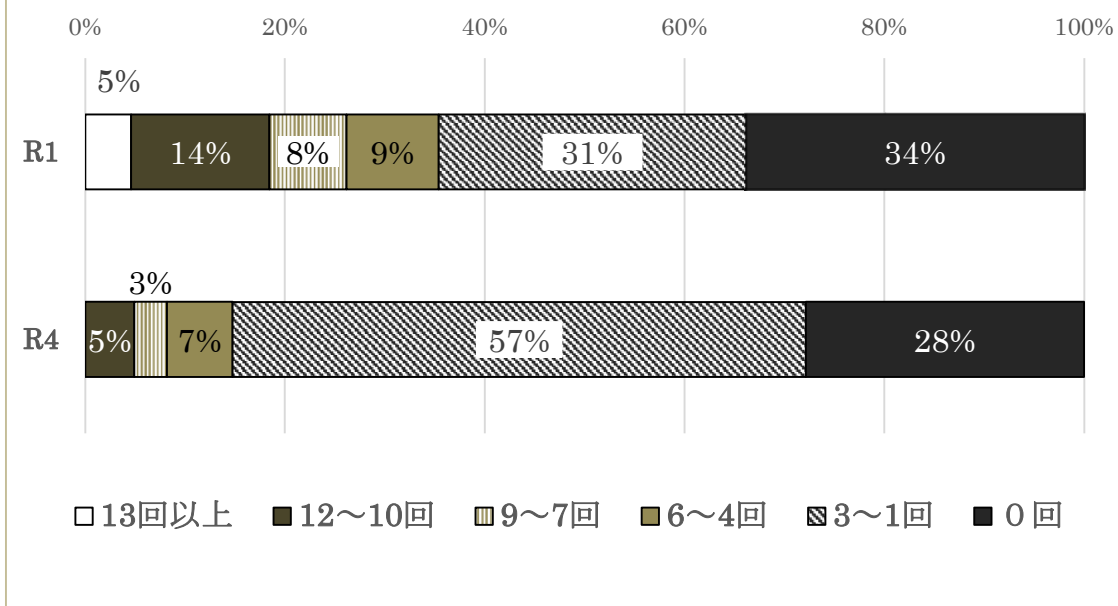
「たよりあいを持っていくと、みなさん楽しそうにお話してくれました」、「たよりあいをお渡ししながら、健康状態等を確認しています」などと、たよりあいが皆さんの活動に役立っているようです。

地域社会での孤立防止のため、たよりあいを活用しながら、継続的な活動をお願いします。

「ひとり暮らし高齢者の方との電話が一時間以上かかります」「コロナや気候状況等で見守りは見送ることが多く、実現しませんでした」「ひとり暮らし高齢者のお宅を訪問しましたが、人に迷惑をかけたくないからとお断りを受けました」との声がありました。

福祉研修会では、福祉の対象になりたくない人がいることや、見守り活動で大切なことは「あいさつ」であるとの話がありました。日頃からのあいさつから始まる見守り活動が、高齢者等の心身の安全を守ることに繋がります。参考資料を7,8ページに記載しております。負担のない継続した見守り活動をお願いします。

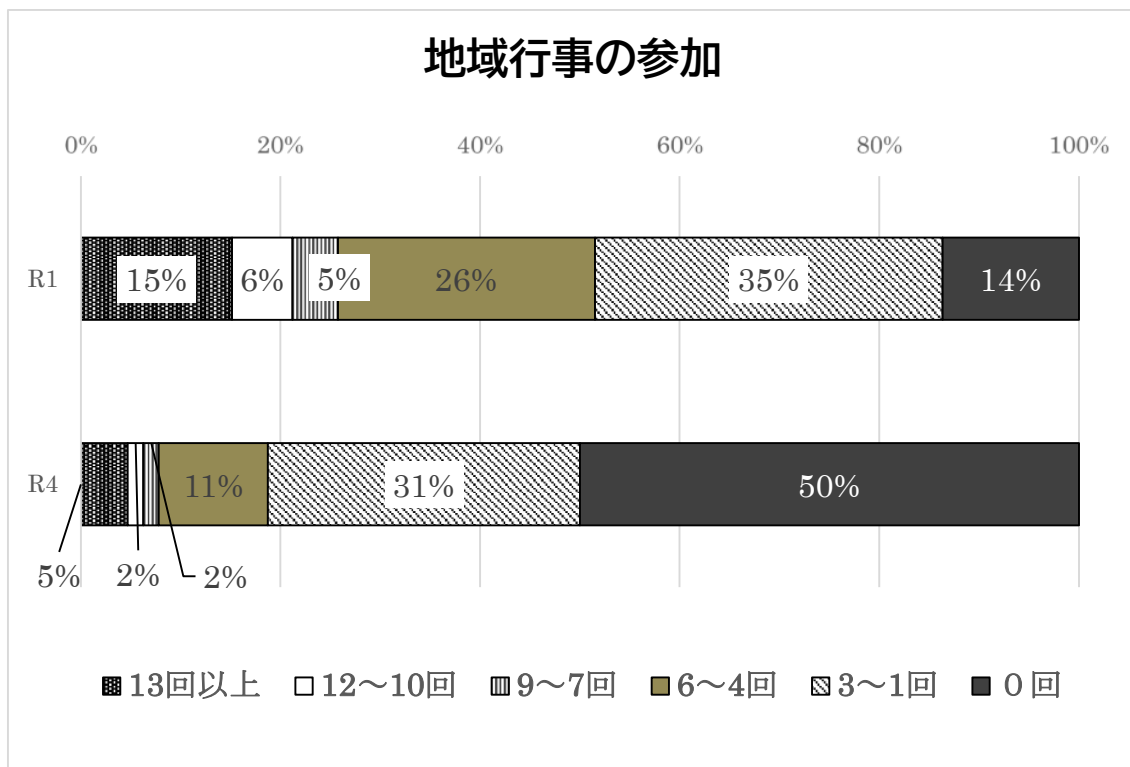
行政区内での話し合いの回数(情報交換会)



行政区内での話し合いの回数につきましては、参加していると回答された人はコロナ禍前よりも増加しています。

「公民館の手すりの設置を要望して、検討・対応していただいた」との声があり、行政区内で情報共有・交換をきっかけに事故を予防されていることがわかります。

一方で、「個人情報厳守と災害避難時の動きについての問題が上がった」「民生委員の交代で体制が整わない」との声もありました。



地域行事の参加に関しまして、令和4年度は半数の方が参加されており、内容は手工芸展示会、公民館での防災訓練・美化作業、地域秋祭り、敬老会への参加などがありました。「行事の際に声掛けをしている」との声もあり、行事が見守りの場となっていることがうかがえます。

子育てサロンに関しましては、1割の方が参加されています。これは、コロナ禍前の令和元年度とほぼ変化はありません。

「コロナの影響で、一時中止せざるを得なくなったが、落ち着いてきて予定通り開催できるようになった」との声があり、徐々に開催できているようです。「区長、民生委員、福祉委員全員がボランティアに入っているため、日ごろから情報交換や話し合いができる」との声をもあり、集まるきっかけにしている区もあるようです。

「3年間、コロナで活動があまりできなかった」「ようやくコロナがおさまり、これから活動が活発にできると思うとほっとします」との意見があり、コロナ禍による活動制限により福祉委員の活動が思うようにできなかったことがうかがえます。